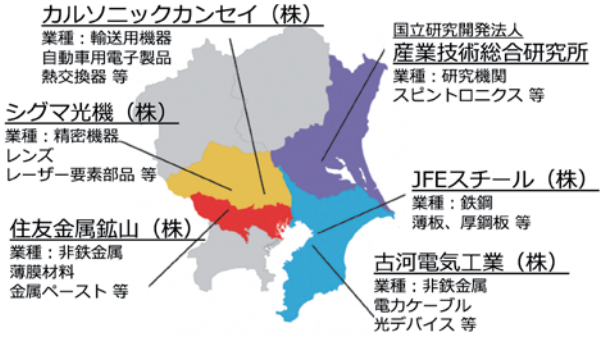
**おうぶつ EVENT**　**学部３年**

*応用物理学コースでは毎年３月に、主に学部３年生を対象とした学外見学を実施しています。企業・研究所等における生産・開発・研究の現場を見学して、その後の勉学や研究の動機付けにすることが目的です。平成30年度は３月4～7日に実施し、22名の学生が参加しました。*

# 応物コース３年 学外見学




**参加者の学生（当時学部３年）の声：**

**自分を見つめ直す良い機会 by 宮林美友（みやばやし・みゆ）さん**

結論から言うと、学外見学に参加してとても良かったです。**大学院に進学するかどうか決める前に自分を見つめ直す良い機会**となったためです。研究所や工場の様子を間近で見たり、実際に現場で働く応物OBの方々と直接お話する機会が多く設けられたり、卒業後の研究・開発職のイメージを具体的につかめました。今回の見学を通じ、**研究に対するモチベーションが上がった人**（博士課程進学を意識する人）と**学部卒での就職を意識する人**が現れたと思います。**漠然とした気持ちで進学を決めてしまう前に、学外見学は考え直す機会を提供**してくれました。

**産総研の研究者がとても楽しそう by 北條峻之（ほうじょう・たかゆき）さん**

今回の学外見学で研究所、工場、企業という種類の違う場所を見て回り、就職についての情報にたくさん触れられて、とても良かったです。特に、選択肢が広がったという点で良かったです。というのも、今回の研修を通して**博士課程への進学も考えるべきだと気付かされました。**それは、産総研の研究者がとても楽しそうだったからです。

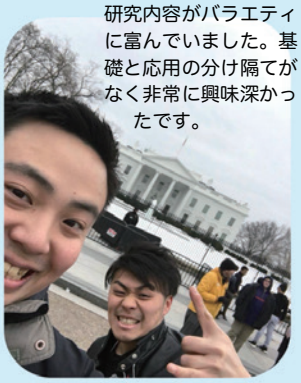
# From Abroad

**大学院へ進学して海外に行こう！**

**応用物理学専攻では大学院生が留学したり、国際会議で発表したりすることを推奨しています。応物では、誰にでもチャンスがある。**

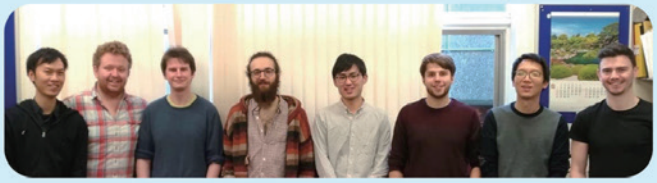
**昨年度も研究費を利用してたくさんの大学院生が海外に行きました。Enjoy your research life.**

**北京** 齋藤亘さん（博士２年）清華大学で開催の熱電変換のセミナーで研究発表しました。中国の研究のレベルの高さを肌で感じるとともにセミナー後の懇親会で中国式の乾杯！を経験し、ひどくフラフラに…



**ワシントンD.C.** 尾崎太飛さん（博士１年）磁性体の国際会議では研究内容がバラエティに富んでいました。基礎と応用の分け隔てがなく非常に興味深かったです。

**メルボルン** 松本栞里さん（修士２年）アジア生物物理学会に参加しました。オーストラリアらしく、生き物や自然、カンガルー肉を楽しみました。



**ヨーク** 小笠原貴大さん（博士１年）８ヶ月間研究留学しました。初めての海外生活や新しい研究、インターンなど新鮮で楽しい日々を過ごしました。

**シンガポール** 大橋昌立さん（修士２年）セラミック材料の国際会議に参加しました。写真はマーライオン。これを見ずにシンガポールに行ったとは言えません。

## ツッチー先生のワンポイント英会話（レッスン１）

「日本人はＲの発音が一」とよく言われますが、体験上では、むしろＬの発音が問題になるように思います。レストランで「地元のビール（local beer）ちょうだい、フフン」と言ったつもりが、“local”を全然聞き取ってもらえなかったという類の悲劇を避けるためにも、みなさん、まずはＬの発音に気を配りましょう。